

学校施設の耐震診断結果の公表について

耐震診断は、昭和56年5月以前の建築基準(旧基準)で設計された建物について、大規模な地震(震度6強以上)に対してどの程度耐えることができるかを調べるものです。

学校施設は、児童生徒等が一日の大半を過ごす活動の場であり、非常災害時には地域住民の応急避難場所としての役割も果たすことから、その安全性の確保は重要です。

木古内町は、平成18年に木古内中学校校舎の第一次診断を実施しました。

<耐震診断結果表の説明>

- 1 構造欄の記号は、下記のとおり構造種別を表しています。

「R」… 鉄筋コンクリート造

「S」… 鉄骨造・その他造

- 2 耐震診断の対象となる学校施設

耐震診断は、2階建以上または延べ面積200㎡を超える建物を対象としています。

- 3 耐震診断結果欄の記載は、下記のとおりとなっています。

- 4 I s 値(構造耐震指標)

建物の耐震性能を表す指標で、数値が大きくなるほど耐震性能が高くなります。

国土交通省告示では、震度6強の振動および衝撃に対して倒壊または崩壊する危険性は、I s 値0.3未満では高い、I s 値0.3以上0.6未満では危険性がある、

I s 値0.6以上では低いとされており、文部科学省では、耐震補強後のI s 値は、0.7を超えることとしています。

町立小中学校施設耐震診断状況一覧

学校名	建物区分	建築年	構造	階数	耐震診断結果	耐震診断の状況
鶴岡小学校	校舎	昭和62年	R	1		診断必要なし
鶴岡小学校	体育館	昭和63年	S	1		〃
木古内小学校	校舎	平成7年	R	3		〃
木古内小学校	体育館	平成7年	S	1		〃
木古内中学校	校舎	昭和42年	R	3	I s 値0.22	H18年 第一次診断
木古内中学校	体育館	昭和44年	S	1		